



「今年こそぜひ報恩講に！」

慈光照護のもと、門信徒の皆さまにはますますご清祥にお念仏ご相続のことと慶賀に存じあげます。

浄土真宗でもっとも大切な仏事である報恩講が今年もやってきます。西光寺でもブログなどで雨漏りやら壁のはがれやら水漏れやらのお寺の老朽化を何度もお伝えしています。最近はお寺(特に大きな建物)の存在意義についていろいろ考えています。三国には一の部から四の部までの狭い旧町内だけでも二十四ヶ寺、三国町全域には五十四ヶ寺(昔の三国町連合仏教会の資料より)もの寺院があります。それらをこの人口減と仏教離れといわれる時代に存続させていくことにどれだけの意味があるのだろうかかと考えてしまいます。また、他所のお寺の修復や新築に関しての寄付について、ご門徒さまがいかにたいへんな思いをしていらつしやるかもよく耳にします。家族が生きていくだけでもたいへんな時代、『我がお寺』だから当然出してくださいでは理解

報恩講にお参りください。10月
16日(水) 昼二時・夜七時
17日(木) 朝十時

されないのもつともではないかと思えます。でもこのままでは寺は朽ち果てていくばかりです。今は「西光寺は寄付寄付言わんからいいわ」と言われることもあります。いつまでもこのままですむとは思えません。どうしたらいいのか、悩みは尽きません。

報恩講などの仏事についても、昨年の大連夜のご門徒さまのお参りは十人でした。もちろん平日ですからお参りできない方がいらつしやることは承知しております。でも、演劇やコンサートが観客とアーティストが一体になって作り上げられるように、法要も僧侶が勝手にやるのではなく、お参りのご門徒さまあつての法要だと思おうのです。他のお寺のようにイベントをやればという声もありますが、現状では支出が増えるだけになってしまふのではと思います。住職の愚痴ばかりで本当に申し訳ありませんが、ぜひ今年はこのご勝縁に万難を排してお参りください。

また、お参りになれないご門徒さまにも、報恩講はご門徒さまからのお蠟燭代などのご懇志で勤めさせていただいております。みなさまからのご懇志をよろしくお願い申し上げます。本願寺などでは御正忌報恩講のご案内に懇志の封筒

が同封されております。西光寺でもこのような封筒を同封しようかとずいぶん考えましたが今年はやめました。みなさまからのご意見を伺って、今後考えていこうと思っております。(←本願寺からの封筒)

御懇志

御正忌報恩講法要		
寺	組	教区
住所 〒		
ふりがな		
名前		
金	円	

写真は昭和四十七年にお勤めされた、西光寺の納骨堂の落慶法要のときのものです。このように本堂が満堂になつて、ご門徒のみなさまとともに仏法を聞かせていただきたいと願っております。愚痴ばかり書いたことを重ねてお詫び申し上げます。



日	10時〜	14時〜	19時〜
17日 (木)	ご満座 阿弥陀経作法 法話一席	大速夜 報恩講作法 法話二席	初夜 初夜礼讃 御伝鈔拝読 法話一席
16日 (水)			

福井市教應寺住職

ご法話 本願寺布教使

奥田 順誓師です。

「念仏奉仕団参加者募集！」

71号でもお知らせしましたように、西本願寺での念仏奉仕団が左記の日程で行われます。みなさまのご参加をお待ちしています。住職ももちろん参加します。奉仕団といっても、お掃除などの奉仕は一日に一時程度です。あとは本願寺の書院拝観。お聴聞、ご門主さまとの記念撮影などです。日程表は近日中にお寺のブログにアップします。帰敬式（おかみそり）も受けられます。この機会にぜひぜひご参加を😊。

日程 11月25日（月）〜26日（火）

行程 25日・三国駅（7:30）↓午後奉仕

宿泊 京都市内 26日・午前中奉仕↓午後

永観堂で紅葉を観賞↓三国駅（19:30予定）

※参加ご希望の方は早めに住職までご連絡ください。足が痛い方、正座ができなくて

も大丈夫です！

「ご家庭でも報恩講を！」

ご門徒のみなさまにはご家庭での報恩講のご案内を入れさせていただきました。阿弥陀如来のご本願によつて救われていく浄土の教えを、私たちに広く教えてくださった親鸞聖人のご恩に感謝する大切な法要です。月参りをされてないご家庭でもぜひお勤めくださいますようお願いいたします。🕯️を忘れずにご用意くださいね！今年も親鸞聖人の七百五十八回忌にあたります。

「御文章はなぜ横向きになるの？」

本願寺第八代の蓮如上人が布教のために書かれて全国各地に送られたお手紙が御文章（本願寺派の読み方。大谷派では御文といふ）です。このお手紙が送られてきた庄屋（名主）さんが、村人を集めて読み上げて皆でお念仏を喜びました。日本最古の通信教育とも言われます💧。その名残で読経の後に横向きになって拝読するのです。送られてきたものだから、僧侶が持っている本ではなく、そのご家庭にある御文章を拝読するのが正しい作法です。月参りなどではついつい住職の持っている御文章を拝読させていたいただきますが、年忌法要などでは、ぜひみなさまのお家の御文章箱を出しておいてください。それ何？という方は、お仏壇の引き出しか、その回りに必ずあるはずですよ💧。また、住職はみなさま

のお家では、写真がかけられている場合は写真のある方に向かつて御文章を読んでもいいですが、それは単にご先祖の写真にお尻を向けるのが申しわけなく思うのでそうしていただくだけで、決してご先祖さまに対して拝読しているわけではありません。お参りのみなさまに対して拝読しております。その点どうぞよろしくお願いいたします😊。

なにか書き忘れた気もするのですが、紙面が余ったので、前ページの西光寺の納骨堂の落慶法要の写真をもう一枚、懐かしいご門徒さまがたくさん写っていらつしやいます😓。今は本棚やストーブや椅子が置いてあるこんな隅っこまでぎつしりのお参りです。紙面では誰かわからないと思いますが、大きな写真をご覧になりたい方は住職まで。では報恩講にて！



なにか書き忘れた気もするのですが、紙面が余ったので、前ページの西光寺の納骨堂の落慶法要の写真をもう一枚、懐かしいご門徒さまがたくさん写っていらつしやいます😓。今は本棚やストーブや椅子が置いてあるこんな隅っこまでぎつしりのお参りです。紙面では誰かわからないと思いますが、大きな写真をご覧になりたい方は住職まで。では報恩講にて！

住職携帯 090-8997-7902
 メール soichiro4989@gmail.com
 ブログ 西光寺で最高時！